

第89回経営委員会議事概要

1. 日 時：2024年1月23日（火）14:55～16:51
2. 場 所：年金積立金管理運用独立行政法人 大会議室
3. 出席委員等：・山口委員長 ・新井委員長代理 ・板場委員 ・内田委員
・逢見委員 ・尾崎委員 ・加藤委員 ・小宮山委員 ・根本委員
・宮園理事長
4. 議事概要

【審議事項】

(1)「株式レンディングについて（2）」

株式レンディングについて、執行部から説明があった。

(2)「次期リスク・リターン分析ツールについて」

次期リスク・リターン分析ツールの調達を実施すること等について執行部から説明があった。本議案については審議事項として上げられたが、審議において委員から特段の修正意見がなかったため、審議の合理化を図るという観点から議決を行い、出席した10名の全委員の賛成により承認された。

【報告事項】

(1)「監査委員会活動報告（2023年度第3四半期）」

三様監査会議における報告内容、3回の契約審査会に出席し契約審査会での契約審査は適正に実施されていると考えていることなどについて、委員から報告があった。質疑の概要は以下のとおりである。

- 委員E 2026年3月末に女性の管理職の目標比率を18%とするという、この18%というのはどういう根拠によるものなのか。
- 理 事 18%という目標自体は、ある種公的な機関として標準的なものという形で当時は立てたのではないかと思う。
- 委員E 育児等で、女性が活躍するのに障害になるようなものについて、取り除くような努力を続けていくことは非常に重要だと思う。18%という目標が高すぎるのか低すぎるのかよく分からないが、世の中では何か数値目標があると、表面的な数字合わせをいろいろな組織でやっているようなことが散見される。そういうことはあまり意味がないので、そのようなことがないようにお願いしたい。
- 委員A この18%というのは、対外的に公表している数字なので、それなりに私は重いと思う。これまでの執行部の努力がどの程度のものであったかよく分からないが、女性が家庭と両立してきちんと働けるような環境をつくって、幹部としての知識経験を蓄積しつつ昇進していくと、そういう体制を作らなければならないと思う。今後どうやって、やっていくのか。そこをロードマップ的なものをきちんと作って、努力していく必要があるのではないか。

理事 組織として掲げた目標が重いというのは、委員がおっしゃるとおりだと思うので、そこに向けて検証、もしくは努力を進めていきたい。

委員F 大体、大手金融機関では20%から30%の間、管理職比率だけがもちろん全てではないが、まず物すごいギャップがあるということ認識し、危機意識を持ってやっていただく必要があると思う。プロフェッショナルな人に対しては需要が多いので、待っているというよりはむしろ働きかけていい方をある程度リストにしている。いろんな女性のネットワークも活用して、コンタクトするとか、採用もやっぱり男性だけじゃなくて女性の方も入れてする等、いろいろなあらゆる包摂的な手段でやっていただく必要があると思う。

委員G やはり2026年3月までの18%の目標達成のためには、きちんとした具体的なアクションプランを作り込んでいかないと間に合わなくなってしまう可能性があると思うので、そこはやはり重ねてお願いしたい。可能であれば経営委員会でそのプランを共有してほしい。

理事 一言だけ申しあげると、やっぱりそこは、管理職、女性にもこの組織の重要な機能を担う能力はあると思っており、適切に担っていただくことが重要であるので、そういう方々の裾野を広げて、適正な能力を持った方を充てていくということで対処していけるようにできればということ考えている。

委員E GPIFの現状というのは、ある意味日本全体の現状を反映しているようなところが多いと思う。新規に応募する人を増やしたいといっても、例えば私が知っているところでいうと、ファイナンス関係の学会員の女性比率だとか、大学の経済学部の女性の教員比率等を見たら、もっと低い。はっきり言って。そういう現実があるということ、やはり踏まえないといけない。かけ声は結構だが、そうした現実の中で、どうやって実現していくかということについては一工夫、二工夫、しないと難しいと思う。世の中全体がそうなので、応募してくださいと言っても、そういう専門性を持っている女性の数が少ないのではないかな。そうしたことが厳然たる事実としてあるわけなので、その辺をきちんと踏まえていかないと、かけ声倒れになると思う。

委員H 女性管理職比率については、GPIFの業務を考えたときに、金融工学それから数理系、アクチュアリー系、それからIT、こういったものは非常に女性がそもそも日本では少ないというのは認識している。法人全体でマネジメントをするということ考えると、その部分だけではなくても、人事、企画、運用管理等の部署もある。そういうことを考えると、やはり法人の今の占める割合というのは少ないというのは現実だと思うので、もう少し客観的な情報で原因を示して、原因を解決する方法をもう少し見える形でやってもらえると、我々も理解が深まるし、サポートできる場所があるならば、サポートできるのではないかと考えている。

委員長 女性活躍推進については、監査委員会の報告の中にいろいろ指摘されているが、そういったことも含めて原因と結果、さらにはどういう努力を執行部としてきたのか。それから、この先の目標に向けてのロードマップ、それをどのように考えているのか。この辺りについては我々経営委員会としても非常に関心のあるテーマなので、どこかの時点で、まとめて説明してほしい。

(2) 「業務執行状況報告 (2023 年度第 3 四半期)」

業務執行状況報告 (2023年度第 3 四半期) について、執行部から報告があった。

【その他事項】

- ・ 議事録の作成及び議事概要の公表 (9 月 14 日開催分) について承認を得た。

以上